

# 決算のお知らせ

# 平成25年度の決算数値が まとまりました

## 健保を取巻く状況

健康保険組合全体の財政状況ですが、健保連(健康保険組合連合会)の「平成26年度健保組合予算早期集計結果の概要」によると、平成26年度の経常赤字は3、689億円、平成20年度の高齢者医療制度の創設以降7年連続の大幅赤字となりました。全組合(今年5月1日現在1、409組合)の約8割の組合が赤字です。

赤字の大きな要因は、高齢者医療制度への拠出金(支援金・納付金等)で、前年度より257億円増の3兆3、155億円に達し、高齢者医療制度創設前(平成19年度)に比べ、約1兆円も増加しています。さらに、平成20年以降の拠出額の累計はついに20兆円を超えました。

保険料収入に対する拠出金の割合は45・43%になり、さらに同割合が50%を超える組合は446組合となりました。

平均保険料率は8・861%で、約3割の組合が保険料率を引き上げました。また、協会けんぽの平均保険料率(10・0%)以上の組合は251組合に達しています。

赤字を出さない収支均衡のために必要な保険料率「実質保険料率」は9・632%ですが、10・0%以上の組合は500組合あります。多くの組合が積立金を取り崩すことにより保険料率を低く抑えています。

## 決算の内容

### (決算にあたっての基礎数値)

平成25年度予算では平均被保険者数2、294名、平均標準報酬月額329、703円を見込んでおりました。全事業所の年間平均被保険者数は2、254名(男子1、511名、女子743名)、平均標準報酬額は、338、163円(男子372、494円、女子266、573円)、前期高齢者医療費の対象者(年間平均)は42名でした。平成26年3月末の被保険者数は2、229名、被扶養者数は、1、153名(扶養率0・52)となりました。

また、介護保険の第2号被保険者たる被保険者数(40歳以上65歳未満)は、年平均で678名、平均標準報酬月額で402、322円でした。

### (一般勘定(コトシタ)

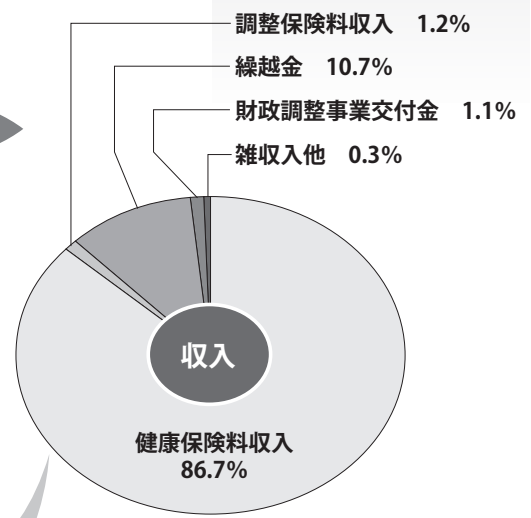
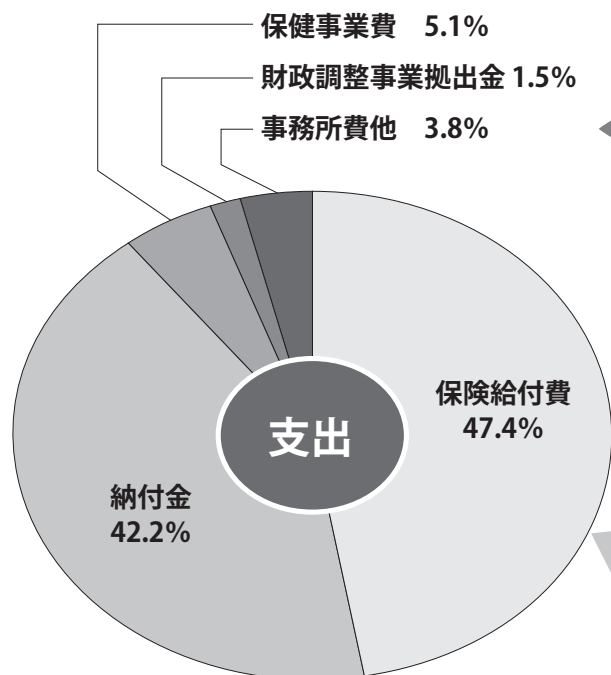
#### ◆収入

- 収入総額は1、111、576千円で、前年度比49、543千円の増収、予算額の100・9%、被保険者1人当たりでは493、157円でした。
- この内訳ですが、健康保険料収入は963、588千円で予算額の100・5%、1人当たり427、501円となりました。
- 調整保険料収入は13、617千円で予算額の10

### 収支の割合



こう使われました



# 平成25年度 収入支出決算概要表

## 一般勘定

### ●収入

科目	金額 (単位：千円)	科目の説明
健康保険料収入	963,254	健保組合運営の財源として皆さんと事業主に納入していただきました
国庫負担金収入	334	国からの健保への補助金です
調整保険料収入	13,617	健保組合間の財政面における助け合い原資となる別枠保険料
繰越金	118,629	前年度の収支残金処分を、当年度に繰越して使用した金額
国庫補助金収入	293	国からの、保険給付費等への補助金
財政調整事業交付金	12,191	健保組合の高額医療費補助として、健保連から交付金を受けています
雑収入	1,078	受取利息や拠出金の精算金です
介護勘定受入	2,180	介護勘定からの受入
収入合計	1,111,576	

### ●支出

科目	金額 (単位：千円)	科目の説明
事務所費	34,404	健康保険組合を運営するための経費として使用します
保険給付費	435,617	皆さんがお医者さんにかかる医療費や各種の給付金で、国が決めた法定給付と健保独自の付加給付があります
納付金	387,315	75歳以上の医療のための「後期高齢者医療制度」、65～74歳の「前期高齢者納付金」等のために健保が支出します
保健事業費	46,456	保健指導宣伝費（社会保険ガイド、健保だより、メンタルヘルス対策他）、疾病予防費（健康診査費他）に使用します
財政調整事業拠出金	13,615	健保組合間の財政面における助け合いのため、健康保険組合連合会への拠出金です
その他の支出	909	健康保険組合連合会に支払う年会費等です
支出合計	918,316	

## 介護勘定

### ●収入

科目	金額 (単位：千円)	科目の説明
介護保険収入	47,479	介護保険の財源として皆さんと事業主に納入していただきました
一般勘定受入	180	一般勘定からの受入
収入合計	47,659	

### ●支出

科目	金額 (単位：千円)	科目の説明
介護納付金	40,715	介護保険財政をまかなうため国に納付金の形で支払います
一般勘定繰入	2,180	一般勘定への繰入
支出合計	42,895	

● 0・4%、1人当たり6,041円、前年度繰越金として118,629千円、1人当たりでは52,630円となりました。なお、別途積立金からの繰入れは行っていないです。

● 国庫補助金収入は293千円、財政調整事業交付金は12,191千円、雑収入は1,078千円、介護勘定受入は2,180千円でした。

◆ 支出

● 支出総額は918,316千円で、前年度比29,148千円の増加、予算額の83・3%、所要財源率88・29%、1000、保険料収入の95・3%、1人当たり407,416円（対前年度比4,808円の減少）でした。

● 事務所費は34,404千円で予算額の93・7%、所要財源率3・31%、1000、1人当たり15,264円でした。

● 保険給付費は435,617千円で、予算額の89・9

● 納付金は387,315千円で、所要財源率37・24%、1000、1人当たり171,835円となり、その内訳は前期高齢者納付金143,209千円、後期高齢者支援金202,160千円、退職者給付拠出金41,942千円、老人保健拠出金4千円でした。

\* 保険給付費と納付金を合わせた所要財源率は79・13%、1000、保険料収入に占める割合は85・4%でした。

● 保健事業費は46,456千円で、予算額の73・8%、所要財源率4・47%、1000、1人当たり20,610円でした。

● 財政調整事業拠出金は13,615千円、その他の支

● 出合計は909千円となりました。

\* 以上のとおり一般勘定は収入合計1,111,576千円、支出合計918,316千円、差引残高193,260千円となりました。別途積立金に28,679千円を積み増し、次年度繰越金として164,578千円を繰越し、平成25年度の事業を終了しました。

（介護勘定（ひん））

収入は介護保険収入47,479千円、一般勘定受入180千円で、合計47,659千円でした。支出は、介護納付金40,715千円、一般勘定繰入2,180千円で、合計42,895千円でした。

\* 介護勘定は収入合計47,659千円、支出合計42,895千円、差引残高4,764千円となりました。法定準備金に2,620千円を積み増し、次年度繰越金として2,144千円を繰越し、平成25年度の事業を終了しました。